

# クイーン倶楽部だより

2021年  
2月号  
第216号

ERN 有限会社エコ・ライス新潟  
新潟県長岡市脇川新田町字前島970-100  
TEL 0258(66)0070  
FAX 0258(66)0447  
URL <http://www.eco-rice.jp/>  
E-mail [office@eco-rice.jp](mailto:office@eco-rice.jp)



## 爆弾低気圧・最強寒波による想像を超えた大雪

その  
19

### Dr.Nobbyのセルフチェック健康

#### 📋 コロナとトリアージ [triage]



トリアージとは3分類という意味です。主に救急医療で救急搬送分類分けを意味します。

地震や爆発事故などのとき犠牲者が多く出ますと、誰を先に運ぶのかという課題に直面します。救急搬送優先順位を重症度により3段階に分け、医師等が色分け、ラベルを犠牲者のところに置きます。救急隊員は色分け順いで運びます。色分けは4分類です。まず「死亡している」が黒、「危険ですぐ担送要」が赤、「危険だが赤が済んだら担送」が黄、「待機しても可」が緑です。

この分類はあくまでも災害事故時ですが、今新型コロナウイルス感染症でも必要となっています。誰を先に重症病床に入院させるか、そして誰を先に人工呼吸器、体外式膜型人工肺を装着するか優先順位です。高価で人手がかなり掛かる機器をずらっと並べるのは無理で、数台が守備範囲です。新型コロナウイルス感染症で死が迫っている方となると高齢者です。ほとんど寝たきりの高齢者が最優先となると頷けません。一般には生存可能が期待できる若い人に装着が妥当となります。

現に高齢者に機器を付ける・付けないで訴訟沙汰になっている事例もあります。機器設置のみならず重症病棟入院も関係します。何らかの法律が必要とされます。運転免許証に万が一死亡の場合、「臓器移植意思表示」の欄があるように、今回を機に「延命治療拒否意思表示」をマイナンバーカードにあらかじめ記録しておくような方法を検討すべきです。



中村 信也 (なかむらのぶや)

医学博士。東京家政大学名誉教授。まほろば東京クリニック院長。  
「食と医療」の医療薬膳研究の第一人者。